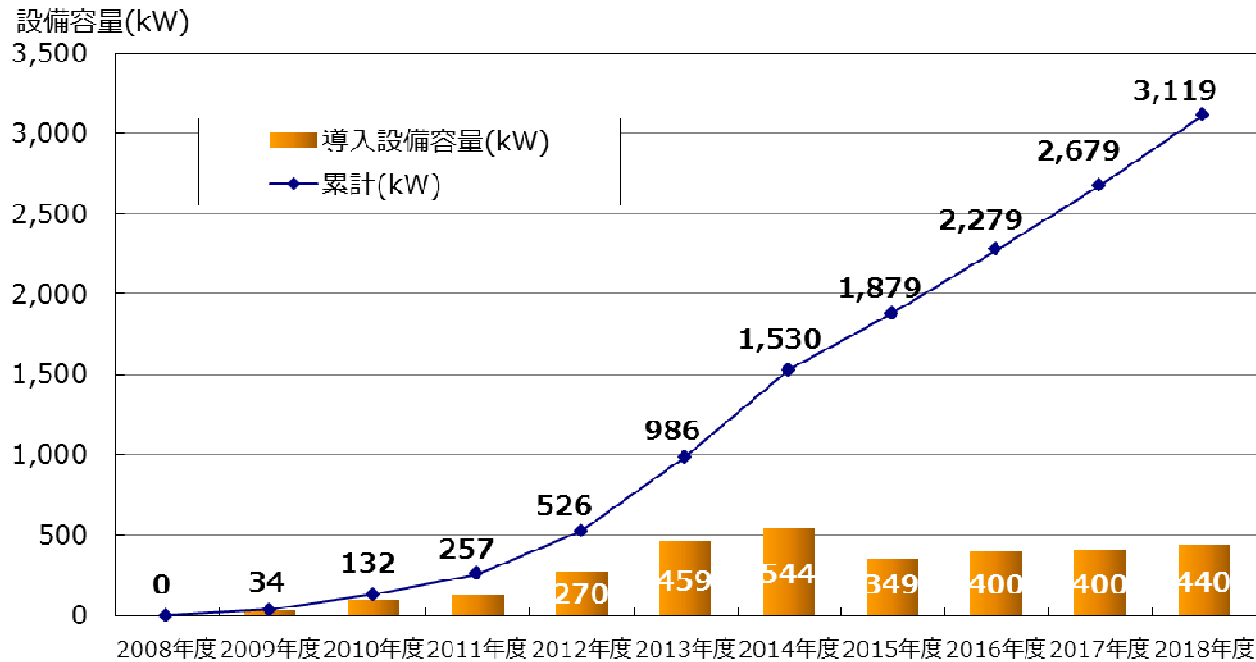


家庭用燃料電池「エネファーム」の導入促進

- 滋賀県内における**民生用燃料電池**(家庭用燃料電池「エネファーム」)の**導入状況**については、設備容量の累積ベースで、**2018年度末時点で3,119kW(4,456台)**。普及率は**全国第7位**。
- 今後とも、**自立分散型エネルギー社会の創造に向けて導入拡大を図っていく必要がある**。

【燃料電池】

⇒ 水素と酸素の化学的な結合反応によって直接、電力を発生させる装置。家庭用の装置としては、都市ガスやLPガスから生成する水素と空気中の酸素を反応させて発電し、この反応により生じる排熱を給湯にも利用することによりエネルギー利用効率を高くした機器が商品化されている。



(出典)燃料電池普及促進協会HP

戸建件数	364,400戸
導入台数(H30年度末)	4,456台
普及率	1.22%
全国順位(世帯普及率)	7位

(出典)燃料電池普及促進協会資料から滋賀県作成

次世代自動車の普及促進②(FCV)

- 平成27年10月、滋賀トヨペット株式会社より**燃料電池自動車「MIRAI」を1台寄贈**。燃料はガソリンではなく「水素」。燃料電池に空気中の酸素を取り込み、水素との化学反応により電気をつくり出し、クルマの動力に。**公用車として利用中**。
- 平成28年1月、**県内初の水素ステーションが大津市内で開所**。
- 平成30年3月、滋賀トヨタ自動車株式会社より**燃料電池自動車「MIRAI」を1台寄贈**。**公用車として利用中**。

燃料電池自動車(FCV)「MIRAI」



寄贈式(平成27年10月7日)



寄贈式(平成30年3月23日)

県内初の水素ステーション

- 【名称】 イワタニ水素ステーション大津
- 【所在地】 大津市富士見台5-9
- 【営業開始】 平成28年1月15日～
- 【設置者】 岩谷産業(株)
- 【水素供給】 液化水素オフサイト供給
- 【供給能力】 1時間当たりFCV6台の満充填が可能



イワタニ水素ステーション 大津(大津市富士見台)

水素エネルギー社会の形成に向けて

しが水素エネルギー研究会

■設置目的

水素エネルギーを巡る諸状況について情報共有し、水素エネルギー社会の形成に向けた機運を醸成するとともに、水素エネルギーを利活用したプロジェクトの組成、推進を図る。

■設置日

平成29年1月6日（規約施行日）

■事業内容

- ①水素エネルギー関連の情報提供
 - ・メルマガ(会員への関連情報の提供)
 - ・関連セミナー
- ②水素エネルギーの利活用に係る調査・研究
 - ・各種情報収集、先進地視察
- ③関連プロジェクトの組成・推進
- ④その他必要な事業に関すること

今後の展開

上記①②を引き続き実施するとともに、③については、本研究会を本県独自のプラットフォームとして、国の外部資金を活用したプロジェクトの組成・推進を図っていく。

→ 会員への情報提供、会員間の交流、会員の裾野の拡大

びわ湖環境ビジネスメッセ2018共催セミナー

しが水素エネルギー推進セミナー

(しが水素エネルギー研究会/平成30年度セミナー)

次世代エネルギーとして期待される水素エネルギーを巡る現状について情報共有し、水素社会の形成に向けた機運の醸成、さらに関連プロジェクトの組成・推進を図るため、本県では、平成29年1月にしが水素エネルギー研究会を設立しました。
今回のセミナーでは、再エネ由来水素の利活用に焦点を当て、今後の県のエネルギー戦略、再エネ由来水素の普及に向けた各企業の取組みをご紹介します。

日時 平成30年 **10月18日(木)**
13:30~16:00 (受付:13:00~)

会場 長浜バイオ大学ドーム
セミナー室① (長浜市田村町1320) J.R.北陸線・田村駅西口より徒歩約5分

定員 100名
参加費無料
※定員に達した時点で参加が終了します。

13:30~13:45 開会挨拶「しがエネルギームーブメント!」のご紹介
滋賀県 県民生活部 エネルギー政策課

講演① 13:45~14:10
エネルギー基本計画の概要と
関西スマートエネルギーイニシアティブの取組
講師: 近畿経済産業局 総務企画部
参事官(エネルギー・環境ビジネス担当) 大塚 公彦 氏

講演② 14:10~14:30
水素の地産地消 地域で取り組む水素まちづくり
~ 再エネ利用水素ステーション「SHIPS」の紹介 ~
講師: 長州産業株式会社 新エネルギー事業部 部長 山崎 敏晴 氏

講演③ 15:00~15:40
水素エネルギー社会に向けたパナソニックの取組
講師: パナソニック株式会社 アプライアンス社
スマートエネルギーシステム事業部 主幹 武部 安男 氏

15:40~16:00 名刺交換会

申込み方法
びわ湖環境ビジネスメッセWEBページ または 事務局の申込書によりお申し込みください。
<https://www.biwako-messe.com/sys/events/view/225>

主催: 滋賀県

脱炭素社会に向けたパナソニック(株)の取組①

- 太陽光パネルでつくった電気で水を分解して水素をつくり、**国内家電主力工場である草津拠点内に建設した水素ステーション**を介して**燃料電池フォークリフトに水素を供給**するとともに、この水素を**純水素燃料電池にも供給して発電し、工場内の電力や熱として利用**

パナソニック(株)アプライアンス社(草津市)

水素の有用性を検証
工場全体のCO2排出を削減

環境性

再生可能
エネルギー

太陽電池

水素供給

H₂

Panasonic

水素ステーション

経済性

純水素燃料電池



発電・
排熱エネルギー活用

電気

熱

草津拠点



燃料電池
フォークリフト



製造現場で運用

脱炭素社会に向けたパナソニック(株)の取組②

- 純水素型燃料電池と太陽電池を組み合わせた自家発電により、事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄う「RE100化ソリューション」の実証の取組

パナソニック(株)アプライアンス社(草津市)

水素の有用性を検証
工場全体のCO2排出を削減

環境性

再生可能
エネルギー

太陽電池

水素供給

H₂

Panasonic

水素ステーション

経済性

純水素燃料電池



燃料電池
フォークリフト



安定運用

発電・
排熱エネルギー活用

電気

熱

草津拠点
Appliances Company

製造現場で運用